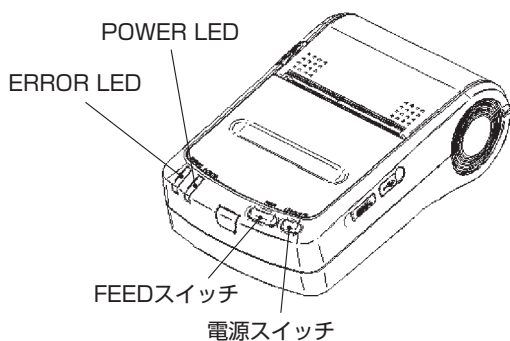


# VZ-390 機能設定ガイド

このたびは、プリンタ VZ-390をご購入いただきありがとうございます。

本プリンタは、使用条件や用途に合わせ、各種の機能設定をキー操作により行うことができます。通常は、設定を変更する必要はありませんが、何らかの原因により、設定が変わってしまった場合には、以下の通りに設定してください。

## <各部の名称>



## ■ 機能設定モードに入る

① プリンタに用紙がセットされ、電源がOFFになっていることを確認します。

② 電源スイッチとFEEDスイッチを同時に押し、POWER LED、ERROR LEDが点灯します。そのまま2つのスイッチを押し続けると、約6秒後にPOWER LEDとERROR LEDが点滅を開始しますので、すぐに両方のスイッチから指を離します。

**FEED** + **ON/OFF** (同時押し。ランプ点滅後、指を離す。)

\* ここで、スイッチから指を離さず、点滅開始から5秒以上経過した場合は、POWER LEDとERROR LEDが点灯に変わり、機能設定モードから抜けてしまいますので、一旦電源「OFF」にして、再度①からやり直します。

③ 下記のメッセージが印字されたら、FEEDスイッチを押します。

Select Function  
Setting Mode : Feed SW / HEX Dump Mode : Power SW

**FEED**

\* メッセージが印字されてから30秒以内にどちらのスイッチも押されなかった場合、電源「OFF」状態に戻ります。

④ 下記のメッセージが印字され設定内容を変更する場合は、FEEDスイッチを押し「■ 設定内容を変更する」の操作を行います。

設定内容に変更がない場合は、POWERスイッチを押します。  
⇒⑥へ

[SETTING MODE] Yes : Feed SW / No : Power SW

**FEED**

以上の操作でプリンタは機能設定モードとなり、スイッチ操作の待ち受け状態となります。

## ■ 設定内容を変更する

① 機能設定モードに入り、下記のメッセージが印字されている状態で電源スイッチを押します。

Load Default Setting? Yes : Feed SW / No : Power SW

**ON/OFF**

② 下記のメッセージが印字されます。

DIP Switch setting mode. 違うことがあります

DIP SW-1=11001111 Change Setting?

Yes: Feed SW / No: Power SW

\* この8桁の数字は、SW-1の設定内容を表しています。SW1-8から1-1までの設定を、次項に記載してある数字に合わせていきます。

印字されたSW-1の8桁の数字と、上記の数字を比較します。

● 目的の並びで印字されている場合 **ON/OFF** ⇒④へ

● それ以外の数字が印字されている場合 **FEED** ⇒③へ

③ 下記のメッセージが印字されている状態で、数字入力していきます。

Input 8 bits. 1: Feed SW / 0: Power SW

● 「1」を設定する場合: **FEED**

● 「0」を設定する場合: **ON/OFF**

例) SW-1に11001001と入力する場合

**FEED** **FEED** **ON/OFF** **ON/OFF** **FEED**  
**ON/OFF** **ON/OFF** **FEED**

と続けてスイッチを押します。スイッチを押すたびに、POWER LEDが点灯し、8桁分のスイッチを押すと下記のように印字されます。

DIP SW-1=11001001 Save Setting?

Yes: Feed SW / No: Power SW

FEEDスイッチを押すと入力した数字で設定を保存、電源スイッチを押すと設定は保存されません。

**FEED** を押した場合: DIP SW-1=11001001 Saved.

**ON/OFF** を押した場合: DIP SW-1 Not Changed.

数字入力を間違えた場合も、一旦SW-10まで設定してください。後ほど再び、SW-1からやり直すことができます。

④ SW-2の設定に移ります。下記のメッセージが印字されます。

DIP Switch setting mode. 違うことがあります

DIP SW-2=11111101 Change Setting?

Yes: Feed SW / No: Power SW

②と同様に、目的の並びで印字されている場合は電源スイッチを、違っての場合はFEEDスイッチを押し8桁の数字を入力します(③参照)。

以下、SW-3、4、10も同様です。 違うことがあります

DIP SW-3=00100000 Change Setting?

DIP SW-4=01111100 Change Setting?

DIP SW-10=11111111 Change Setting?

⑤ SW-10まで設定が終わると、下記のメッセージが印字されます。ここでFEEDスイッチを押すと、最初から設定をやり直すことができます。

DIP Switch setting mode.

Continue : Feed SW / Quit : Power SW

● SW-1からSW-10まで全て数字が合っている場合: **ON/OFF**

● 再びSW-1から設定をやり直す場合: **FEED** ⇒②へ

⑥ 下記のように印字され、電源「OFF」になり、機能設定は完了です。

Setting Mode Finished.

## ■ DIPスイッチ(DIP Switch)の設定内容一覧

の設定で使用してください。

### DIPスイッチ1 (DIP SW-1)

DIP SW	機能	設定内容							
1-8	データ制御 (Data Control)	1	Busy			0	Xon/Xoff		
1-7	ストップビット (Stop Bit)	1	1bit			0	2 bits		
1-6	パリティ (Parity)	0	なし (None)	0	奇数 (Odd)	1	なし (None)	1	偶数 (Even)
1-5		0		1		0		1	
1-4	ビット長 (Bit Length)	1	8 bits			0	7 bits		
1-3	ボーレート (bps) (Baud Rate)	0	2400* <sup>1</sup>	0	4800	0	9600* <sup>2</sup>	1	115200
1-2		0		1		1			
1-1		1		0		1			

\*<sup>1</sup> HB-300、HK-300、MT-900、HX-120、HI-100、HI-300シリーズは、上記の設定内容です。

\*<sup>2</sup> PM-650シリーズは、上記の設定内容です。

### DIPスイッチ2 (DIP SW-2)

DIP SW	機能	設定内容							
2-8	初期自動ステータス送信 (Auto Status Output)	1	無効 (Disable)			0	有効 (Enable)		
2-7	漢字コード体系 (Kanji Code)	1	JISコード (JIS Code)			0	シフトJISコード (Shift-JIS Code)		
2-6	文字フォントサイズ (Font Size)	1	24 dots			0	16 dots		
2-5	オートパワーオフ (Auto Power Off)	1	無効 (Disable)			0	有効 (Enable)		
2-4	文字セット (Character Set)	1	カタカナ文字 (ANK)			0	拡張グラフィックス (IBM Compatible)		
2-3	予約	1	1に固定						
2-2	通信モード選択 (Data Input Mode)	0	Serial/USB	0	Serial/USB	1	Serial/USB	1	—
2-1		0		1		0		1	

### DIPスイッチ3 (DIP SW-3)

DIP SW	機能	設定内容							
3-8	感熱紙モード (Paper Mode)	1	マーク付ロール紙 (Mark Roll Paper)			0	ロール紙 (Roll Paper)		
3-7	印字濃度 (Print Density)	0	95%	0	100%	1	105%	1	110%
3-6		0		1		0			
3-5	感熱紙選択 (Paper Select)	0	TF50KS-E2D (TP-S245L-1)						
3-4		0							
3-3		0							
3-2		0							
3-1		0							

\* 過剰な印字エネルギーは印字ヘッドの寿命を短くすることがあります。

### DIPスイッチ4 (DIP SW-4)

DIP SW	機能	設定内容							
4-8	—	1	—			0	—		
4-7	予約	1	1に固定						
4-6	エラー時BUSY出力選択 (Error)	1	有効 (Busy)			0	無効 (Unbusy)		
4-5	マーク付ロール紙の位置調整 (Mark Position Correct)	1	無効 (Disable)			0	有効 (Enable)		
4-4	予約	1	1に固定						
4-3	予約	1	1に固定						
4-2	シリアルCTS選択 (CTS Control)	1	無効 (Disable)			0	有効 (Enable)		
4-1	ACによる電源自動ON選択 (Auto Activation by AC)	1	無効 (Disable)			0	有効 (Enable)		

\* DIPスイッチ10 (DIP SW-10)は、10-8から10-1まで全て"1"固定になります。